



ずいぶん暑い日が続くようになりました。子ども達は「今日も暑いなあ。」と言いながらも、ままごと、虫探し、水遊び、木の実採り、ジュース作り、竹馬、縄跳び…と、元気いっぱい戸外を走り回っています。最近、花火大会に向けてお店ごっこも楽しんでいます。今回は遊び以外の感動物語に焦点を当てて様子をお伝えします。

緑の下の力持ち

「こっちにも・・・」



「たくさんあったぞ・・・」

絵の具遊びの後には、率先して雑巾がけで掃除もしてくれました。大助かり!!



時計の針が12時を回った頃、もはやグラウンドには誰の姿もない…はずが、つき組の数名の子ども達がせっせと片付けをしていました。自分達が使った物ではなく、はな組さんが置きっぱなしにしていた道具を拾い集めては片付けてくれていました。

少し前までは、担任達がせっせと片付けをしていたのですが、「みんなも手伝ってくれると嬉しいんだけど。」と話したことを、ちゃんと覚えていてくれたようです。年長組としての自信から、頑張る気持ちが大きくなっているのでしょうか。何より、優しい心根が『緑の下の力持ち』としての力を発揮しているのでしょうか。担任は、誇らしく嬉しい気持ちでいっぱいです。子ども達、優しく育ててくれてありがとう。

野菜収穫第一弾

「イエーイ、ゲット! マイクになるね。ちゃんまげにもなるね笑」



「おいしくしてください。」「オッケー。任せてー。」



大絶賛!
「ズッキーニのチーズのせオープン焼き」

畑に毎日の水かけを頑張っているつき組さん。「キュウリ、もうすぐ食べれそうだね。」「シソも食べれそうな気がする。」「マメはまだまだだね。」「ジャガイモの花が咲いたね。」「トマトの花は黄色だ。」と、生長・変化に目を向け、発見を楽しんでいます。そんな中、とうとう収穫できる野菜が!!それは、ズッキーニです。1つしか生っていないので、クラスのみんなで実り具合を見て、みんなが見守る中、担任がハサミで採りました。何の申し合わせもしていないのに、担任が「せーの。」と言うと、なぜかみんなが「ズッキーニ!」と声を合わせて言うので、笑ってしまいました。「ズッキーニ!」→チョコキン♪ と、良いリズムで採ることが出来ました。

収穫第一弾のズッキーニは、早速厨房のお姉さんに手渡し、翌日の給食で、つき組だけの特別メニューにしてもらいました。1本を26人分にしてもらったので、ほんの一口ではありましたが、「うまっ。」「おいしい。」「もっと食べたい。」と、大絶賛でした。自分達の野菜という嬉しさから、格別な味になったようです。今後の収穫にも期待が膨らむきっかけになったことでしょう。(その後、キュウリ1本&カブの葉っぱも収穫。木・金曜日の給食に出ました～。)

リラックスできる間柄?



今週は連日猛暑日でした。月曜日の運動遊びの後、「ふうー、あっち〜。」「疲れたー。」「のど乾いたー。」「汗かいたー。」と保育室に戻ってきた子ども達。そこで担任が「じゃあ、(時計の)長い針9まで休憩しよう。」と提案したところ、冷たい床にゴロンと横になったりまったりとした体勢になったり大の字になったり…。あまりにくつろいだ姿が微笑ましくて可愛らしくてシャッターを押しました。そして、リラックスできる間柄になったのかな?と嬉しくなりました。シャッターを押したくて思わず机に上がった担任に、「ちょっと、先生〜!机に上がったちゃダメでしょ!!」と突っ込みを入れる子ども達。担任との間柄も絶妙になってきたかも。

